

## 座卓テーブル

### 特徴

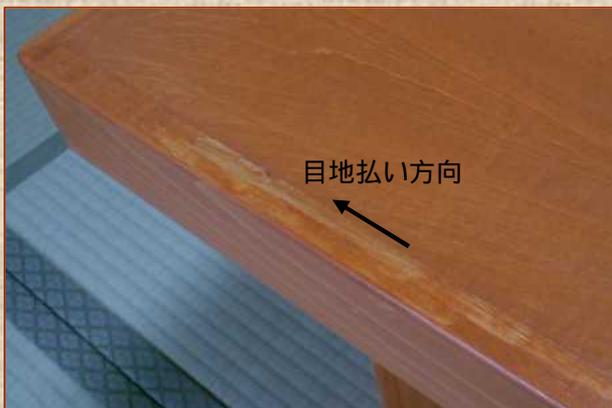
- ・ 既存の座卓に並べて使用する、折りたたみ足式の補助テーブル
- ・ 極力軽量であること。
- ・ 醤油や酒に侵されにくい塗装仕上げ

寸法 1150 横 × 800 縦 × 355 高  
材料 ランバーコアシナ合板 + 桧 (縁)  
          榎 (脚)

重量 11.2 kg  
塗装 水性ウレタン塗装

着色: ウッドステイン オーク  
仕上: フレッシュアクリル 半艶

費用 14,148 円 (アクリルは除く)  
完成: 2012/ 1/19



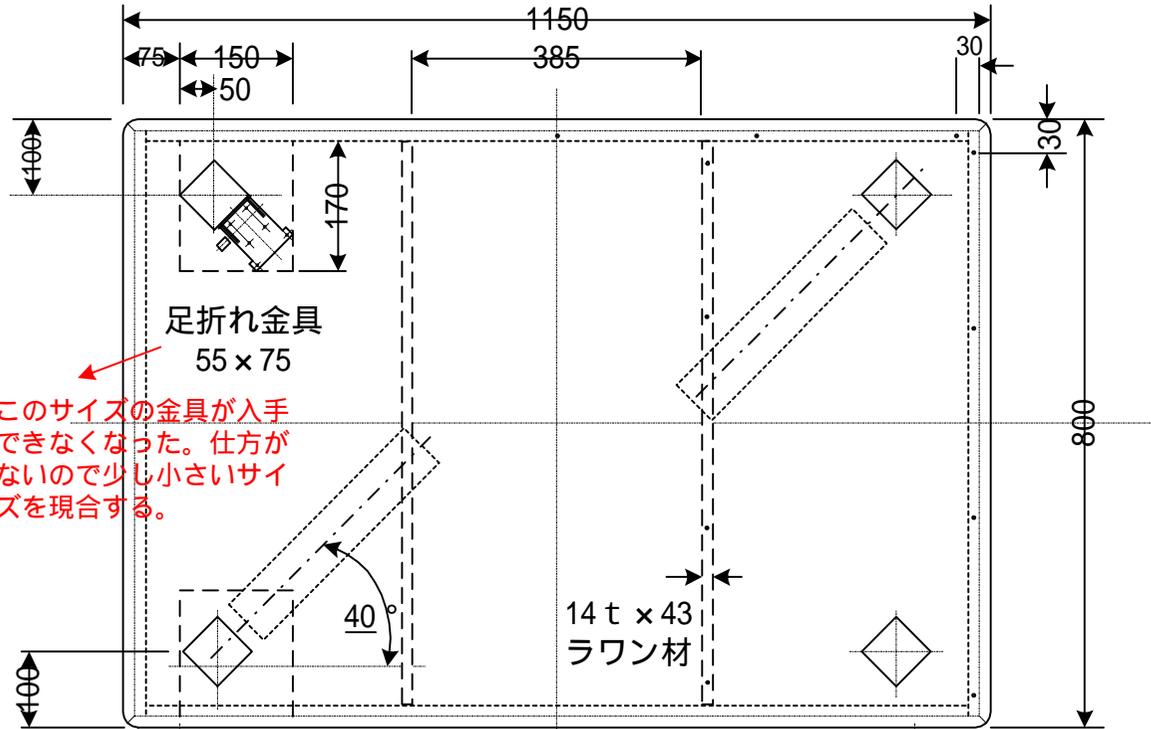
### 無残なパテの跡 (上の写真): 反省

- ・ 胴縁の目地払いのとき、「バリッ」と縁 (15mm 巾木) が上の角まで大きく裂けてしまい、そのパーツを貼り付け直して固着したのだが、やはり小さな窪みは残ってしまった。(裂けた原因は、切り込み量が大き過ぎた)
- ・ そこで、安易にラワン色と白色パテを混合し、殆ど桧材の色に仕上げステインを刷り込んでみたのだが、何のことはないパテが目だってしまう結果となった。この手の失敗は何度かある筈なのにガックリ・・・。
- ・ 今思うと、思い切って縁材を深さ 10 ミリ程度まで削り取ってしまい、別の部材を木目合わせしながら貼り付けて仕上げ直せばよかったと反省。特に、上側のコーナーは 45 度カットで縁切りできるし、手間はかかるが綺麗に修正できたような気がする。折角の修正技術の習得チャンスだったのかも知れない。
- ・ この他、目地払いをする部材には、予め木目方向を考えて組立しておく必要があることを実感する。

### 裏話

- ・ 以前、「イス式食卓」の足をカットして、「座卓テーブル」に改造してあげたが、今回はそのテーブルに並べて使える補助座卓テーブルの義妹からの依頼である。(座卓は既に 4 台経験しているので楽勝の筈だった・・・)
- ・ 作成済み基本図からの変更だけだと思っていたのだが、「折りたたみ脚金具」の同じものが入手できずに、仕方なく一回り小型の金具に変更せざるを得なかった。(貧弱なのに値段はなぜか高くなっていた)
- ・ 今回も同じく桧材を縁に取り付けたのだが、接着硬化後の目地払い仕上げでドジをやらかしてしまった。その修正にもっと手間暇を掛ければよかったと悔やまれる。パテを混合調整して、塗装前には殆ど目立たないヒノキ色だったのに、ステインを着色してみると、案の定パテが目立ってしまった。
- ・ 塗装仕上げは、酒や醤油に侵されにくい優れ物のアクリルフラッシュの 2 回塗り。
- ・ 全体を軽くする為に、足は中空構造にしているので 12 kg を下回ることができた。

15 t シナランバーコア合板 (ロイヤル@2990) カット寸法 1120×770



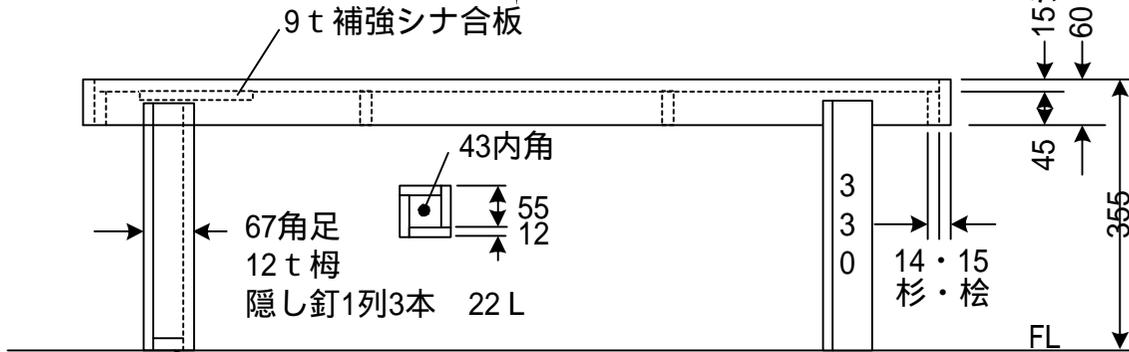
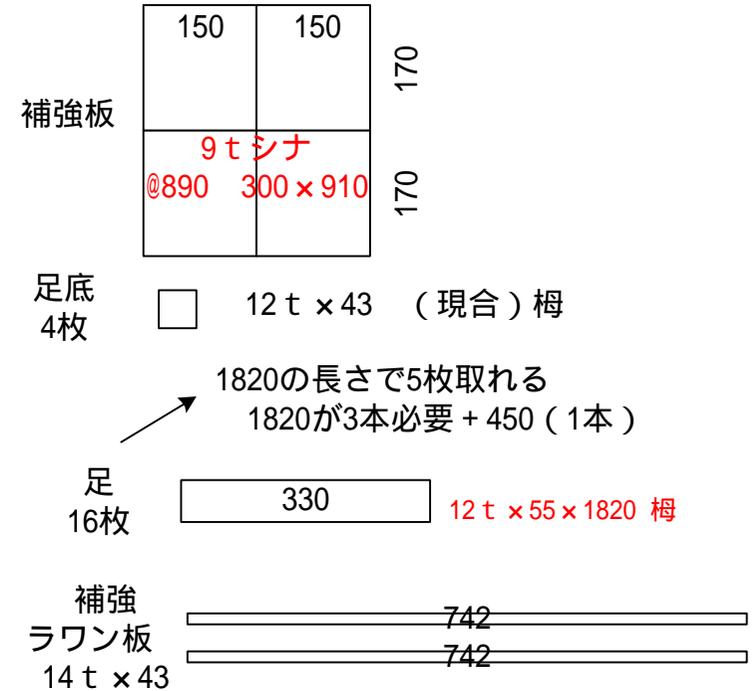
このサイズの金具が入手できなくなった。仕方がないので少し小さいサイズを現合する。

材料

- 1920×15×60桧@955 (コ) ×3本 = ¥2865 (長手&短手外縁用)
- 1820×14×(43) ラワン@780 (コ) ×1本 = ¥780 (底面補強用) 残材流用
- 杉14×45×910 @165×2 = ¥330 (力)
- 杉14×45×1820 @365×2 = ¥730 (力)
- 柾12×55×1820 @449×3 = ¥1347 (口)
- 柾12×55×910 @249×1 = ¥249 (口)

塗装 水性ウレタン塗装

- 着色 ターナー色彩(株) ウッドステイン オーク 2回
- 仕上 アクアフラッシュF 半艶 2回



滑り止めシート  
50×50×1 t

内側縁  
杉板 14 t  
外側縁  
桧板 15 t

